

認定コンプライアンス・オフィサー試験 サンプル問題（穴埋め・記述式）

（Ⅰ）企業経営と企業倫理

〔問題－１〕 以下の文章の空欄（ A ）～（ B ）に当てはまる語句を記入して文章を完成させなさい。

コンプライアンス・プログラムとは、規程の整備、内部統制の実施計画、職員の研修計画等、コンプライアンスを実現させるための具体的な実践計画であるが、その策定・見直しには（ A ）の承認を要し、最低でも（ B ）に策定することが望ましい。

〔問題－２〕 CSR とは何かを説明した上で、CSR とコンプライアンスの関係について述べなさい。

（Ⅱ）コーポレート・ガバナンスと内部統制

〔問題－１〕 以下の文章の空欄（ A ）～（ B ）に当てはまる語句を記入して文章を完成させなさい。

（ A ）は、内部統制システムの適切性と有効性を評価する機能であり、十分な牽制機能を働かせるために（ B ）性を確保することが重要である。

〔問題－２〕 COSO レポートにおける内部統制の五つの構成要素と、その各構成要素の関係について簡潔に述べなさい。

（Ⅲ）企業法務・コンプライアンスの基礎

〔問題－１〕 インサイダー取引とは何か、簡潔に説明しなさい。

〔問題－２〕 株主平等の原則について、簡潔に説明しなさい。

認定コンプライアンス・オフィサー試験 サンプル問題（穴埋め・記述式）

（Ⅰ）企業経営と企業倫理

〔解答例〕

問題－１．解答例：（ A ）取締役会 （ B ）年度毎
〔テキスト１ 第２章 II 参照〕

問題－２．解答例：CSRとは、責任ある企業行動によりステークホルダーとの良好な関係を築きながら、自社の持続的発展を目指すことである。コンプライアンスは、CSRの内容の中での基礎的な取り組みの一つである。

〔テキスト１ 第３章 I 参照〕

（Ⅱ）コーポレート・ガバナンスと内部統制

〔解答例〕

問題－１．解答例：（ A ）内部監査 （ B ）独立
〔テキスト２ 第３章 I 参照〕

問題－２．解答例：COSOレポートにおける五つの構成要素とは、統制環境、リスク評価、統制活動、情報と伝達、モニタリングである。五つの構成要素は、いずれの構成要素も他の構成要素に影響を与える多方向で多面的な相互関係にある。

〔テキスト２ 第２章 II 参照〕

（Ⅲ）企業法務・コンプライアンスの基礎

〔解答例〕

問題－１．解答例：未公表の重要事実を知った会社関係者等が、重要事実の発生後から公表の前までに、重要事実を知りながら株券等の売買を行うこと。さらに、公開買付等の事実を知った関係者等が公表の前までに株券等の買付を行うことを指し、金融商品取引法にて禁止されている。（同法 第166条 第167条）。関係者には役職員・派遣社員・パートの他、取引先、証券会社、顧問弁護士、会計監査人、監督官庁職員等が該当する。

〔テキスト３ 第６章 III 参照〕

問題－２．解答例：株主平等の原則とは、株主は株主としての資格に基づく法律関係においては、その有する株式の数に応じて平等の取扱いを受けるべきであるとする原則である。

〔テキスト３ 第１章 IV－３ 参照〕